

## 【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	下松市家庭教育支援チーム (呼称:くだまつ特別支援チーム「なかよし親の会」)
活動開始年度	平成30年度
活動拠点	下松市中央公民館
活動範囲	下松小学校・下松中学校区(少しずつ範囲を広げる予定)
活動財源	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名 ) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ( )
組織体制	<u>10人</u> 元特別支援教育担当教員 障害福祉課職員 特別支援学級所属児童生徒保護者 通級教室利用児童・生徒の保護者
具体的な活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 講座型 <input checked="" type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他( )  ・特別支援についての講座を企画運営・研修会に参加 ・座談会を開き、悩みを相談し合う。その場に指導者に参加してもらい、アドバイスを受ける。 ・先進的な取組をしている学校や施設等の見学 ・参加を呼び掛ける広報活動
活動の成果	・孤立感の解消。就学関係文書の取扱いや相談の仕方、相談機関等の情報があまり入らず個人で悩む保護者が多かったが、相談できる環境ができてきた。 ・個別に悩むことが多く、親子とも交流する場面が少なかったが、研修会や座談会等を開くようになったおかげで顔見知りになり、気軽に相談できるようになった。さらに若い世代の人にアドバイスできるようにもなっている。
活動において苦労した点や課題	・小学校就学前にとっても悩んで不安な思いで過ごす人が多い。幼稚園や保育園、こども園に在籍する保護者や保健センターを訪れている保護者の方々にも気軽に相談してもらえる体制を整えたい。
今後の活動目標	・他の校区の保護者にも情報提供できる体制を整える。
問合せ先	(部署・氏名等) 下松市教育委員会生涯学習振興課・西村 俊彦 (TEL)0833-45-1871 (E-mail)nishimura.toshihiko@city.kudamatsu.lg.jp